

# 奥匹見峡 三ノ谷 沢登 山行報告書

日 程：令和4年(2022年)9月11日

参加者：土橋・中山・中野・岡村繁雄

行 程：5時間〔沢4時間・最後の分岐より登山道15分(ヤブコギを含んで)・下山45分〕

2006年5月以来16年ぶりの、奥匹見峡 三ノ谷である。

駐車場を9時18分出発、少し歩いた橋の先より入渓。



駐車場の案内板



この橋の先より入渓



入渓 [9:27]



[9:31]



[9:41]



F7 魚切ノ滝 [9:51]



正面奥の岸壁の下が、F8 小龍頭ノ滝

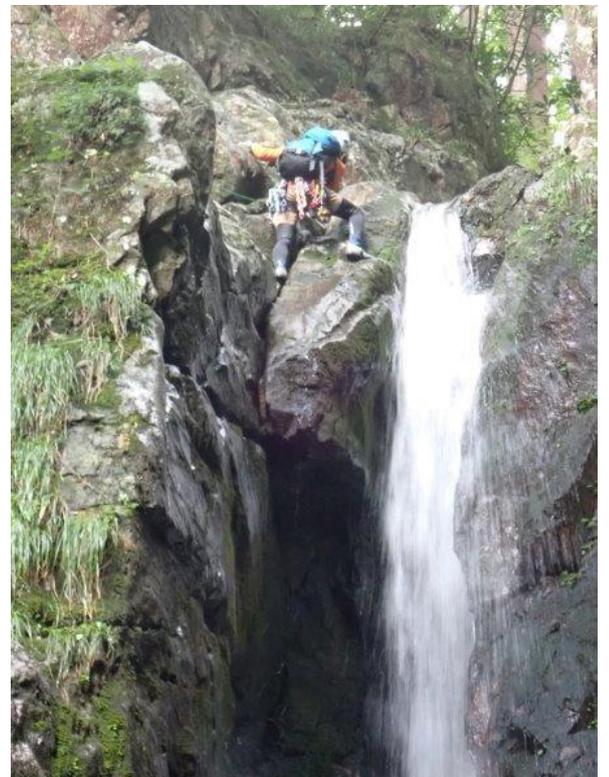


F8 小龍頭ノ滝 [10:05]



### F8 小龍頭ノ滝 登攀

前回は、アブミを使用せず  
シュリンゲのみで登っていた  
ぬめりさえ注意して登れば  
見た目ほど難しくない





F8 小龍頭ノ滝 上部より撮影



F9 姫滝 [10:51]



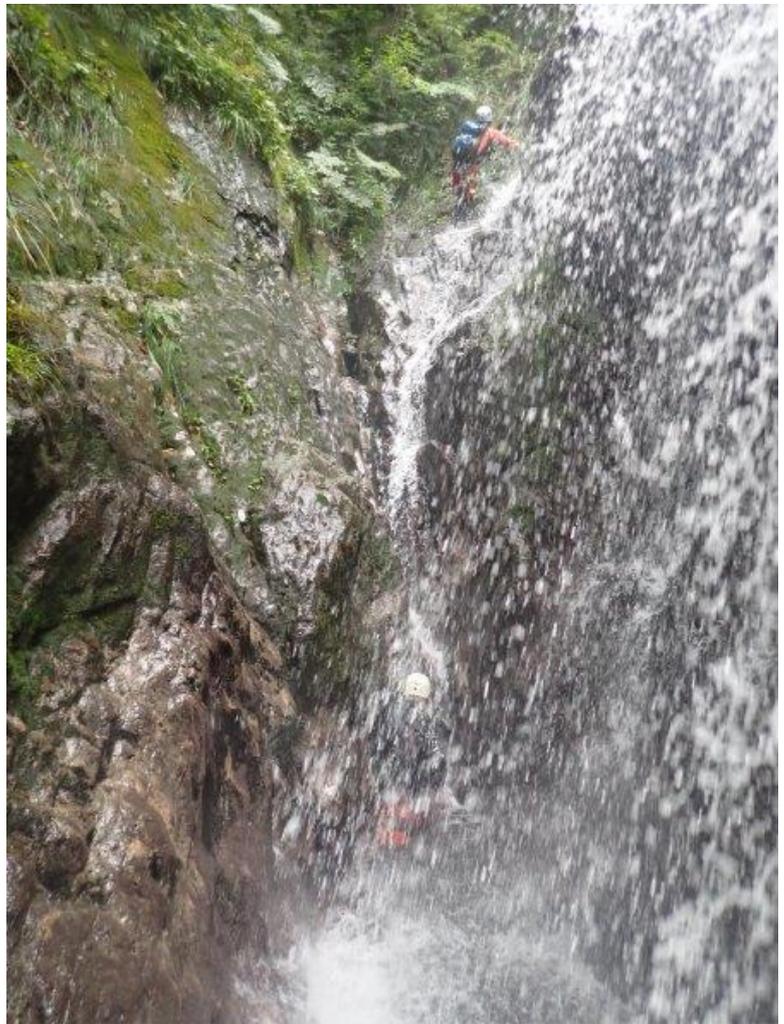
F12 夫婦滝

前回は水量が多く、真ん中の岩稜を登ったが、今回は左をシャワークライミングで、土橋さんがトライ [11:16]

行ってみるとシャワーも心地よく水量しだいだろうが、意外に面白い



**F12 夫婦滝**  
左側をシャワークライミングで抜ける  
〔11:20〕



**F13 大龍頭ノ滝 〔11:27〕**



F13 大龍頭ノ滝 右側の鹿の背沿いに高巻く。この先に崩れかけた「鹿の背」の標識あり



高巻の途中、アルミのハシゴが残置された下をトラバース



この悪い斜面を超えると、F13の注ぎ口の上に出る  
〔11:53〕





[12:05]



[12:10]



[12:19]



[12:53]



沢も終わりかと思っていたら、最後に非常に感じの良い広い斜滝がある [12:59]



[13:00]



最後の斜滝後 [13:07]



登山道までのヤブコギ [13:22]



駐車場横の天杉山登山口に下山 [14:15]

最後の広い斜滝を抜けた後は、水量も少なくなり樹林帯に出た。

沢を左左へと進み途中の分岐から 15 分のヤブコギで、登山道に合流。その後 45 分で駐車場に到着。

前回の記録と比較して、今回は最後に広い斜滝を抜けた後、少し奥まで進んだためその分時間を要したようだ。

最後の斜滝を通過後は、分岐を早めに左にヤブコギして登山道へ抜けた方が良いでしょう。

今回もなかなか充実した山行であったが、体力の衰えを感じさせられる山行でもあった。

北九州山岳同好会「嵐」

*Reported by S.Okamura Photo presented by M.Dobashi & S.Okamura*